

お前らに「国家的プロジェクト」を語る資格など寸分もない！

JR東海9月号で、厚地専務がインタビューの中で、リニア中央新幹線を「国家的プロジェクト」として位置づけている。厚地氏の「国家的」にどの程度の思い入れがあるか知るよしもないが、社内誌といえども、役員ともなれば言葉には責任を持つべきだ。

そもそもリニア中央新幹線は、当時の葛西会長が政府の介入を意味嫌い突如、全額自己負担をブチ上げ、ようやく整備新幹線事業として認可された事業だ。しかも一転、法改正までして3兆円もの財投融資も受けることにもなった。つまり正しくは、表向きは民間プロジェクトを装いながら、用地買収など厄介な問題や事業の破綻すら視野に、「全幹法」により、一切合切、国に面倒を見てもらうという「極めて姑息なプロジェクト」というのが正確な正体だ。したがって「国家的プロ」を偉そうに語る前にやるべきことは、世論への謙虚な説明だ。

しかも某財界ビジネス誌では、経営人らによる犯罪的な言葉すら述べられている。●**財投について金子社長**：財投を借りたわけじゃない。民間の銀行から借りるのと同じ条件で借りたと思います。返せるか返せないか事業を見て、あなたが判断してくれと。**あなたとは**：政府だったり？機構だったり？貸すのが心配だったら貸さなきゃいい。向こうも納得して、私たちも納得して借りた。

このコメントへの感想であるが、融資元はどこ？「向こう」とは何もの！社長が今さら寝惚けたことを言うな！財投融資に対して謙虚に感謝しろ世論へ！そんな考えならとつとつとリニア事業から撤退してしまえ！

元本3兆円返済30年猶予が民間銀行と同じか！バカ野郎！